

# 緑友 だより

NO. 37

51 / 3

## 全国印刷緑友会機関誌

東京都杉並区和田1-29-11 (社)日本印刷技術協会内  
◇発行人=筒井尚亮 ◇編集人=作道亮雄

### 変らぬ緑友の精神

≡ 創立19年目の春を迎えて ≡



全国印刷緑友会

会長 筒井尚亮

不況に明け暮れた50年から視界好転の期待をかけた51年へと舞台が廻って早や三カ月、季節はさすがに春めくものの、企業の環境はなお軽々しく予断を許しません。私の現在地の東京では、昨年を通じて印刷需要は全く減退し、暮れの忙しさなど全く感じられず、年は変ってもあまり目立った良化のきざしは見られませんが、皆様ご活躍の都市ではいかがでしょうか。

さて、さる2月7日には東京・新宿の住友スカイルーム47階で、全国印刷緑友会セミナーが開かれました。これは東京の文京緑友会がホストで、各界の頭脳集団のトップの方々を講師に招き、大変有意義な勉強の一刻を過ごすことができました。

また昨年の暮れに渡辺守将副会長とともに南国沖縄を訪問させていただき、沖縄県青年印刷若潮会の大城会長と与那覇副会長とにお会いして、県下の印刷事情をつぶさに見聞するとともに、沖縄の皆様と親しく語り合う機会を得ましたことを報告致します。

時間距離の大幅な短縮によって、北は北海道か

ら南は沖縄までの皆様に気軽に目にかかれるようになったことは、緑友のテーマである“人の和と意識革命、を実現できるチャンスが訪れている”といっているでしょう。

全国印刷緑友会も創立以来幾星霜を経て、今年は19回目の総会と大会を春と秋に迎えます。春は4月に神戸で、秋は水戸で、それぞれ地元グループのホスト役で盛大に開かれます。

大会や総会のあり方も時代の流れを背景にいろいろと変わります。ある時は質素に、またある時はある程度派手になったこともありました。しかし時は移り人は変わっても、緑友会創立の精神は変わらず現在も我々会員の胸の内に生き、そして受け継がれております。

来年はいよいよ創立20周年の年です。いろいろの行事も秋には予定されており、ご期待を乞うところどころです。

吉報あり次第皆様にお伝え致します。未だ浅いとはいえ芽吹きの日々が参ります。皆様のご健康を心からお祈り致します。

### 六甲山上で総会

4月24日へ準備進む

○…春の第19回全国印刷緑友会総会は、主管の神戸印刷若人会(熊野利夫幹事長)の手で準備が進められスケジュールもほぼ確定し、案内状発送の手はずになっています。開催要領はあらまし次の通りです。ご参加を待ちます。

- ★日程=51年4月24日(土) 午後2時~8時(泊)
- ★会場=六甲オリエンタルホテル(神戸市内六甲山山上)
- ★集合=24日12時30分、新神戸駅前(専用バスで山上送迎の用意)
- ★参加費=1万5千円(宿泊費とも)
- ★プログラム ①受付(1:30) ②開会(2:00)…グループ紹介、あいさつなど ③総会議事(2:30~3:30) ④記念講演(3:30~4:30) ⑤グループ近況報告(4:30~5:30) ⑥懇親パーティ(5:30~8:00)-宿泊
- ※翌朝解散の予定

# 「曲り角」へ聞き耳

≡ 3講師招き2月セミナー ≡



○…緑友会主催の恒例行事「緑友会セミナー」が2月7日東京・新宿の住友ビル47階スカイルームに全国から約百名の会員が出席して開かれ、経済と人事管理それに技術思想といった三分野についてそれぞれエキスパートの講演を聴きました。

設営と苦心のプログラム編成に当たった文京緑友会の鈴木会長が歓迎と開講のあいさつ、次いで筒井会長が51年の第一声にあたるあいさつを述べ、さっそく4時間をこえる研修に――。

○…講師陣のトップは矢野誠也矢野経営予測センター所長で「昭和51年の経済予測」。通産省、経企庁、中小企業庁の中で経済予測一筋に全能傾けた気鋭のエコノミスト。景気占いにいくつかの好材料が現われているものの、カギを握る消費の動向が春闘がらみで多くを期待できないのが泣きどころ。結局アメリカのように政府の消費刺激策を求め、それが奏功して消費が伸びた時に政府見通しの5%成長は何とか達成の可能性はあるが、そうでなければ3%前後にとどまることになる。いずれにせよ、よくなった！という実感が稀薄な回復になりかねないとして、政策主導型回復を期待する一手……という見方。

○…二番手は「リーダーシップについて」の演題で遠藤幸雄講師。ただいま日大文理学部助教授の肩書きですが、いわずと知れた体操のオリンピック金メダリスト。主として小集団内部の人間関係をテーマに体験的

リーダーシップ論を展開、さすが一芸に秀でた人間は……と痛感させる卓見や洞察、意表をつく物の見方などウルトラCを織りませでの「模範演技」。栄光の金メダルも席上回覧して、とくと拝見させてもらいました。

○…ラストはテレビでなじみ深い科学評論家、元NHK解説者の村野賢哉氏。現在は「ケンリサーチ」を主宰する社長さん。かつての高度成長を誘導する力の一つであった技術革新の停滞にメスを入れ、「速い」「大きい」ことはいいことだと

いう価値観に疑いをもたなかった従来の技術思想が、ようやく現実の壁の前で行き詰りの様相を見せ始めて



講演中の村野賢哉講師

いることに鋭く注意をうながし、人類進化の重要な契機であった「手の技能」の復権を主張するという、同氏近年の持論に興味深く耳を傾けました。

## 「総会」簡素化へ

—西日本大会は独り立ち—

### 全国グループ長会議で申し合せ

○…ニュースは少しさかのぼりますが、昨年11月15日に名古屋グランドホテルで全国印刷緑友会加盟団体代表者による第1回全国グループ長会議が開かれ、会の恒例行事計画に修正を加えることで意見の一致をみました。その結果、①従来の緑友会西日本大会を緑友会行事から分離し、非加盟を含む西日本地区グループによる任意の集会とする。②総会が大会と同じ形態運営になっているのを改め、代表者（1-2名）による会議形式にもどす。③総会の開催地はその性格上、東京、大阪、名古屋、神戸など時間距離の比較的短い場所とする。④総会は春に開き、秋にグループ長会議を招集する。⑤総会など行事内容がエスカレートしないような枠組みを検討し、全体として簡素化と経費節減を図る。⑥こうした行事修正にともない、緑友会の本質を損ねない限りで各グループの経費、時間の負担軽減を図る一などの方向が確認され、4月の神戸総会で正式に決定の上、実行に移すことになりました。

#### ★西日本グループ長会議の提議

○…全国グループ長会議に対し、\*軌道修正、を提議したのは、これに先立って午前中同じグランドホテルで開かれた西日本グループ長会議のイニシアティブによるもので、この西日本グループ長会議では、西日本大会を今後どう運営するかについて活発な意見がかわされました。

西日本のグループ長が会議を開いたのも初めてなら西日本地区大会の運営を議題にするのも初めてでしたが、それには背景と動機がありました。一つは緑友会関係の行事の中で、大会、総会、西日本地区大会と三つの行事の重複性が濃く、それぞれの独自性が乏しくなっている現状に対し再検討を望む機運が強まってきたこと。第二はこれと関連して各グループの活動を基盤とする建前から、全国行事のエスカレートを抑えて簡素化し、経費と時間の負担を軽くする要求が高まっていたこと。そしてより直接的にはこの問題をめぐる意見について情報の混乱があったため、これを早急にたす必要があったこと一などです。

北九州の渡辺氏を座長に会議を始め、座長から「西日本大会を今後どうするかが午後のグループ長会議の議題になっている。時間と費用、それに他行事との重複度の面から再検討してほしい」と提案されたのを口火に、これをめぐって活発に意見が交されました。

「西日本大会は\*向う三軒両隣り、が出発点だ。最近では地域内の交流の密度が薄れてきている」（久留米）「もともと地区のコミュニケーションの場だったが、のちに緑友会行事に組み入れた。それ以後、九州では参加しなくなったグループがある。独自性が薄れ、ミニ大会化している」（福岡）「緑友会行事の再検討の一環として考えたい。大会と総会の重複性をなくし、グループ長会議を総会に代え、西日本大会は緑友会行事から外した上で今後のあり方を考えてはどうか」（大阪）

○…こんな経過で、西日本大会を緑友会行事から切り離すことを確認した上、今後の運営について検討したわけですが、地域活動の充実を重視しつつも、これによって「緑友会のメリット、意義を損なうことがあっては後退だ」（福岡、久留米）との意見もあり、あ

くまで緑友会活動の基盤強化と運営の合理化という積極的な立場に立つものであることも確認されました。

このあと、神戸、福岡、佐世保、久留米、下関、北九州などから、もっと密度の高い、形式にとらわれない相互の「触れ合い」の場に戻そうとの意見が異口同音に語られ、51年6月に予定されている大阪開催を機に名称も『西日本青年印刷人の集い』として再発足することになりました。また内容も大会形式をやめ、親密な相互交流の場にすること、費用は最低限に抑え、登録費の枠内で予算をまかなうこと、開催地責任者をバックアップする相談役をおくことなどを申し合せました。

こうした西日本大会の新方向とからめ、総会をグループ長会議に改編することなど運営の簡素化を、午後の全国グループ長会議へ提議する運びになったわけです。

#### ★行事の重複性改める

○…午後の第1回グループ長会議は筒井会長を議長に作道、飯田両副会長を副議長に議事を進め、冒頭渡辺副会長が西日本グループ長会議の結論を報告して検討を求めたところ、緑友会とは別に運営されている東北印刷人協議会などの先例があることもあって、とくに異議もなく西日本の方針が承認されました。

論議は総会の簡素化あるいはグループ長会議への移行問題に集中し、各代表者から活発な意見が出たすえに、「総会」の名称は残して内容を実質的にグループ代表者会議とすることに落ち着きました。また筒井会長の強い要請によって、春の総会とは別に秋に1回グループ長会議を開くこと、その場合、大会との抱き合せにせず、別の日に招集することを申し合せました。

また恒例の2月セミナーも緑友会の全国行事とせず各グループにまかせる方向が西日本グループから提案されましたが、講師の問題などの理由から現状維持を望む声があり、これにブロック別セミナーの提案もからんで結論にまでは至らず、4月の神戸総会まで持ち越すことになりました。

このあと2月セミナー、4月総会（神戸）、9月大会（水戸）などの準備状況報告、来年の20周年記念大会（東京）の計画を打合せ、最後に各グループの近況を報告し合って散会しました。

# 全国印刷緑友会会員名簿

グループ名	代表者名	人員	代 表 者	所 在 地	電 話 番 号
仙 台 刷 新 会	亀岡 勇	63	☎983	仙台市伊在白山仙台印刷団地	三慶印刷(株) 0222(88)5841
山形印刷研修会	大場 寛	37	☎990	山形市七日町5-10-9	大場源太郎印刷所 0236(22)4349
福島印刷彩友会	山川 章	30	☎960	福島市荒町5-36	株山川印刷所 0245(23)3304
新潟印刷新世会	渋谷徹夫	27	☎950	新潟市出来島244	株新潟活版所 0252(44)4195
茨城緑友会	長倉克彦	28	☎310	水戸市上水戸1-8-14	(有)カクチョウ印刷所 0292(21)2989
印刷同友会	中村守利	61	☎108	東京都港区芝白金1-25-20	中村精巧印刷(株) 03(444) 7111
千代田印刷人新世会	青木宏至	44	☎101	東京都千代田区神田錦町3-9	株精興社 03(293) 3011
文京緑友会	鈴木嘉男	58	☎113	東京都文京区水道1-2-1	公和印刷(株) 03(813) 5666
東京写真製版若葉会	竹田正道	50	☎130	東京都墨田区吾妻橋2-12-1	株竹田原色版製版印刷所 03(623) 7633
東京プロセス製版青樹会	小野瀬洋一	15	☎162	東京都新宿区岩戸町11	東京平版(株) 03(290) 1226
神奈川正和会	尾崎郁雄	20	☎233	横浜市南区南太田町4-371	(有)尾崎印刷所内 045(731)5841
長野青年印刷人緑友会	飯田範夫	39	☎380	長野市問御所町1173-3	秀峰印刷(株) 0262(34)2831
上小印刷若獅子会	竹内伸一	26	☎386	上田市踏入2-18-19	竹内印刷(株) 02682(2)1492
名古屋而立会	吉田秀雄	40	☎460	名古屋市中区東瓦町5	吉田印刷紙工(有) 052(261)7221
ぎふ印刷翠陽クラブ	水谷勝彦	40	☎500	岐阜市京町1丁目8	(有)水谷美術印刷 0582(62)1473
大阪青年印刷人クラブ	作道亮雄	65	☎540	大阪市東区内久宝寺町3-34	作道印刷(株) 06(941) 2525
大阪写真製版二世会	尾崎 彰	13	☎540	大阪市東区内本町1-25	株錦靖社 06(942) 5256
神戸印刷若人会	熊野利夫	44	☎657	神戸市灘区大石南町2-5-11	熊野写真製版社 078(881)1848
愛媛印刷人青年会	岡田紀男	20	☎790	松山市大手町2-7-5	愛媛印刷工組内 0899(21)0932
下関青年印刷人緑友会	田辺登植	23	☎751	下関市山の田東町5-3	アロー印刷(株) 0832(52)1171
福岡印刷若葉会	久野弘喜	70	☎810	福岡市天神5-6-1	久野印刷(株) 092(74) 0637
北九州YPクラブ	白石勝久	21	☎803	北九州市小倉北区大手町15-27	株一文字印刷所 093(561)1585
久留米印刷緑友会	吉松利郎	22	☎830	久留米市上津町北垣添695-5	ミフチ印刷紙器有限会社 0942(33)6182
佐世保印刷若汐会	岡 敏充	14	☎857	佐世保市万徳町1-20	港 印 刷 0956(24)4591
佐賀県印刷若楠会	児玉好弘	20	☎840	佐賀市神野西4-2-9	隆 文 社 09522(3)4470
熊本印刷緑友会	藤井宏樹	17	☎860	熊本市桜町4-4	熊本県印刷工組 0963(53)0656
沖縄県青年印刷若潮会	大城新正	30	☎901-11	沖縄県南風原村兼城206	近代美術(株) 0988(55)1633

事務局 東京都杉並区和田1-29-11 日本印刷技術協会内 ☎166 ☎(03)384-3 1 1 1